



2021年4月28日

# 2020年度(2021年3月期) 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI  
Inspire the Next



## I. 2020年度(2021年3月期)決算概要

全体概要、グループ別、売上収益・営業利益:増減内訳、  
新型コロナウイルス影響、海外地域別、受注・立上状況、協創

## II. 2021年度計画

全体概要、売上収益・営業利益:増減内訳

## III. 中期経営計画「LOGISTEED 2021」進捗

進捗状況、配当計画、戦略投資(DX分野、SSCV他)、海外事業、  
協創戦略、VC21、環境・社会・ガバナンス、エコシステムの形成・拡大

## 【補足資料】

財政状態、キャッシュ・フロー、主要財務指標・営業費用、設備投資・人員 他



# I .2020年度(2021年3月期) 決算概要



# 2020年度決算概要 (全体概要)

( 単位 : 億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)、( )内は増減差 )

	2019年度		2020年度				
	実績	計画 (1.29時点)	実績	前年比		計画比 (1.29時点)	
				比率	増減		
売上収益	6,723	6,400	<b>6,524</b>	97%	▲199	102%	
営業利益 ※1	<5.0> 334.8	340.0	<5.6> <b>367.1</b>	110%	+32.3	108%	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前当期利益)	<5.9> 396.1	420.0	<6.8> <b>444.3</b>	112%	+48.2	106%	
親会社株主に帰属する 当期利益	<3.2> 216.1	220.0	<3.5> <b>228.7</b>	106%	+12.6	104%	
ROE	9.5%	11.4%	<b>11.8%</b>	-	(+2.3%)	(+0.4%)	
期末株価	2,349円	-	<b>3,720円</b>	158%	(+1,371円)	-	
一株当たり配当	43円	48円	※2 <b>50円</b>	116%	(+7円)	(+2円)	

※1 本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

※2 5月下旬の取締役会にて決議予定



# 2020年度決算概要（グループ別）

（単位：億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、( )内は前年差）

		売上収益			営業利益		
		通期		前年比	通期	前年比	
オーガニック	国内物流	<64>	3,687	99%	231.9	98%	
	国際物流	海外	<28>	1,595	97%	88.7	148%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<6>	323	103%	7.4	495%
	計	<33>	1,918	98%	96.1	156%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	162	89%	12.0	130%	
計	<100>	5,767	98%	339.9	111%		
バンテックグループ	国内物流	<65>	547	84%	28.0	85%	
	国際物流(海外)	<35>	298	97%	5.9	134%	
	計	<100>	845	89%	33.8	91%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		-	▲ 88	(+3)	▲ 6.6	(+2.9)	
合計	国内物流	<65>	4,212	97%	251.8	97%	
	国際物流	海外	<29>	1,862	97%	96.0	151%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<5>	300	105%	7.4	495%
	計	<33>	2,163	98%	103.4	159%	
	その他(物流周辺事業等)	<2>	149	87%	12.0	130%	
計	<100>	6,524	97%	367.1	110%		



# 2020年度決算概要 (売上収益：増減内訳)

## 売上収益(実績)

(億円)

6,723

新型コロナ  
影響  
▲256

- ・国内/その他 : ▲ 229億
- ・海外/フォワーディング : ▲ 8 億
- ・受託領域拡大 : +60億

環境変化・  
物量増減他  
▲ 177

19'実績レート→20'実績レート

- ・USD: ¥ 109 → ¥ 106
- ・EUR: ¥ 121 → ¥ 124
- ・CNY: ¥ 15.6 → ¥ 15.7

為替影響  
▲ 18

ポートフォリオ  
戦略実行  
▲ 3

- ・国内: + 113億
- ・国際: + 110億

新規受注  
+ 223

協創新規  
+ 32

+ 255

6,524

6,400  
計画値  
(1.29公表)

■ 1.29公表計画値との差異: +124億  
\*物量増(国際事業(フォワーディング他)・LCM)

▲ 199

項目	新型コロナ 影響	環境変化・物量増減他			為替 影響	ポートフォリオ 戦略実行	新規 受注	協創 新規	計
		その他 物量増減他	受託領域 拡大	小計					
国内	▲ 137	▲ 220	46	▲ 173	32	113	25	▲ 141	
国際	▲ 112	▲ 8	14	5	▲ 18	▲ 26	6	▲ 35	
その他	▲ 7	▲ 9		▲ 9	▲ 8		1	▲ 23	
計	▲ 256	▲ 237	60	▲ 177	▲ 18	▲ 3	223	32	▲ 199

2019年度(実績)

2020年度(実績)



# 2020年度決算概要 (営業利益：増減内訳)

## 営業利益(実績)

(億円)

335

新型コロナ  
影響

▲50.2

- ・受託領域拡大 : +5.0億
- ・コスト抑制 : +32.3億
- ・その他 : ▲9.4億  
(DD, FY19一過性影響)  
※

環境変化・  
物量増減他

+27.9

ポートフォリオ  
戦略実行

▲1.8

戦略投資  
▲3.6

- ・国内 : +18.3億
- ・国際 : + 6.7億

新規受注

+25.0

協創新規

+4.8

+29.8

生産性向上

+30.1

+59.9

- ・VC21効果 : +16.9億
- ・収益性改善 : +13.2億

340  
計画値  
(1.29公表)

367

■ 1.29公表計画値との差異 : +27億

・物量増(国際事業(フォワーディング他)・LCM)

戦略投資額 : 2020年度累計実績 28.8億円  
(前年差 3.6億円増加)

+32.3

2019年度(実績)

2020年度(実績)



## 【新型コロナウイルス感染症影響：定義】

ロックダウンに伴う、顧客店舗や工場の閉鎖による直接影響や、消費者の需要・消費減による物量減の間接影響 (単位：億円)

区分	影響額（前年差）		内容
	売上収益	営業利益	
国内	▲ 137	▲ 34.3	一過性：顧客店舗休業・顧客工場の生産停止などによる物量減 継続：訪日客(インバウンド需要)減少による物量減
国際	▲ 112	▲ 14.9	一過性：ロックダウンによる顧客工場生産停止/操業減 継続：輸出入貨物の取扱い減少
その他	▲ 7	▲ 1.0	
	▲ 256	▲ 50.2	・上記数値は事業ベースの概算値(IFRS組替(リース含む)影響及び一部の全社費用配分前)

連結損益計算書の、「その他の収益」に補助金等を約15億円計上、「その他の費用」に物流センター・車両の非稼働に伴う固定費等を約16億円計上

## ■ 新型コロナウイルス感染症の影響・当社対応

＜変化＞ ・止めない物流への対応、オンラインでの対応

＜当社対応＞ ・非接触型の運営管理、緊急輸送  
・新規案件の遠隔立上げ  
・人財流動化 等



サーマルセンサー導入



オンラインによる新規立上げ



( 単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)、( )内は増減差(億円) )

項目		2019年度		2020年度			
		売上収益	営業利益	売上収益	前年比	営業利益	前年比
海外	北米	423	12.6	417	99%	13.2	105%
	欧州※1	660	42.9	628	95%	44.8	104%
	アジア(中国除く)	402	13.9	390	97%	18.0	130%
	中国	416	▲ 1.2	411	99%	21.6	(+22.8) 億円
	その他	40	2.8	47	117%	4.7	168%
	連結消去等※2	▲ 32	▲ 7.3	▲ 31	(+1.0) 億円	▲ 6.1	(+1.2) 億円
計		1,910	<3.3%> 63.5	1,862	97%	<5.2%> 96.0	151%

※1. トルコは欧州に含む ※2. バンテック顧客関連資産償却は連結消去等に含む

## 2020年度：受注・立上状況

(単位：件)

		2019年度	2020年度	
		通期	通期	前年増減
受注	国内	20	16	▲4
	国際	6	12	+6
	計	26	28	+2
立上	国内	23	17	▲6
	国際	7	11	+4
	計	30	28	▲2

### (参考1)2020年度主な立上案件

国内：【シューズ】物流センター運営

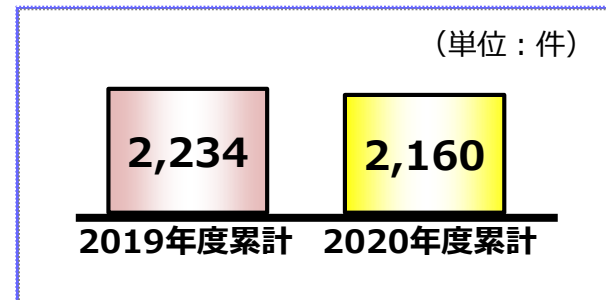
【EC】ECセンター運営

国際：【ゴム製品】タイ発北米向け 三国間海上輸送

【化粧品】物流センター運営

### (参考2)国内本部受注件数の推移

<新旧定義・単発案件(重量機工等)・小規模案件含む>





## 着実な新規案件の積み上げと既存案件の継続的な運営による収益寄与

### ■ 2020年度 新規案件（抜粋）

2020年5月～



物流センター集約・移転

2020年6月～



食品メーカー向け  
倉庫運営

2020年7月～



スポーツメーカー向け  
倉庫運営

2020年10月～



産業機器メーカー向け  
倉庫運営

2020年10月～



眼鏡メーカー向け  
倉庫運営

2021年3月～



資材メーカー向け  
倉庫運営

### ■ 2020年度 新規積上げ分

(単位:億円)

	売上収益	営業利益
国内	25	3.3
国際	6	1.3
その他	1	0.2
<b>協創効果</b>	<b>32</b>	<b>4.8</b>

上記表にはAITとの協創効果を含む



# Ⅱ.2021年度計画



# 2021年度計画 (全体概要)

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)、( )内は増減差)

	2020年度		2021年度		
	実績		計画	前年比	
				比率	増減
売上収益	6,524		<b>6,900</b>	106%	+376
営業利益	<5.6> 367.1		<5.4> <b>375.0</b>	102%	+7.9
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前当期利益)	<6.8> 444.3		<5.4> <b>372.0</b>	84%	▲72.3
親会社株主に帰属する 当期利益	<3.5> 228.7		<3.0> <b>205.0</b>	90%	▲23.7
ROE	11.8%		<b>12.7%</b>	-	(+0.9%)
一株当たり配当	※ 50円		<b>56円</b>	112%	(+6円)

※ 5月下旬の取締役会にて決議予定

## 売上収益 (計画)

(億円)

- ・受託領域拡大：+99億
- ・新型コロナ影響戻り：+150億
- ・その他：+65億  
(顧客物量増減・FY20一過性要因)

- ・新型コロナ再拡大、
- ・半導体リスク、
- ・米中貿易摩擦 他

環境変化・  
物量増減他  
**+314**

為替影響  
**▲13**

ポートフォリオ  
戦略実行  
**▲40**

新規受注  
**+155**

協創新規  
**+60**

リスク  
織り込み  
**▲100**

**6,900**

**6,524**

USD：¥105  
EUR：¥125  
CNY：¥16.0

**+215**

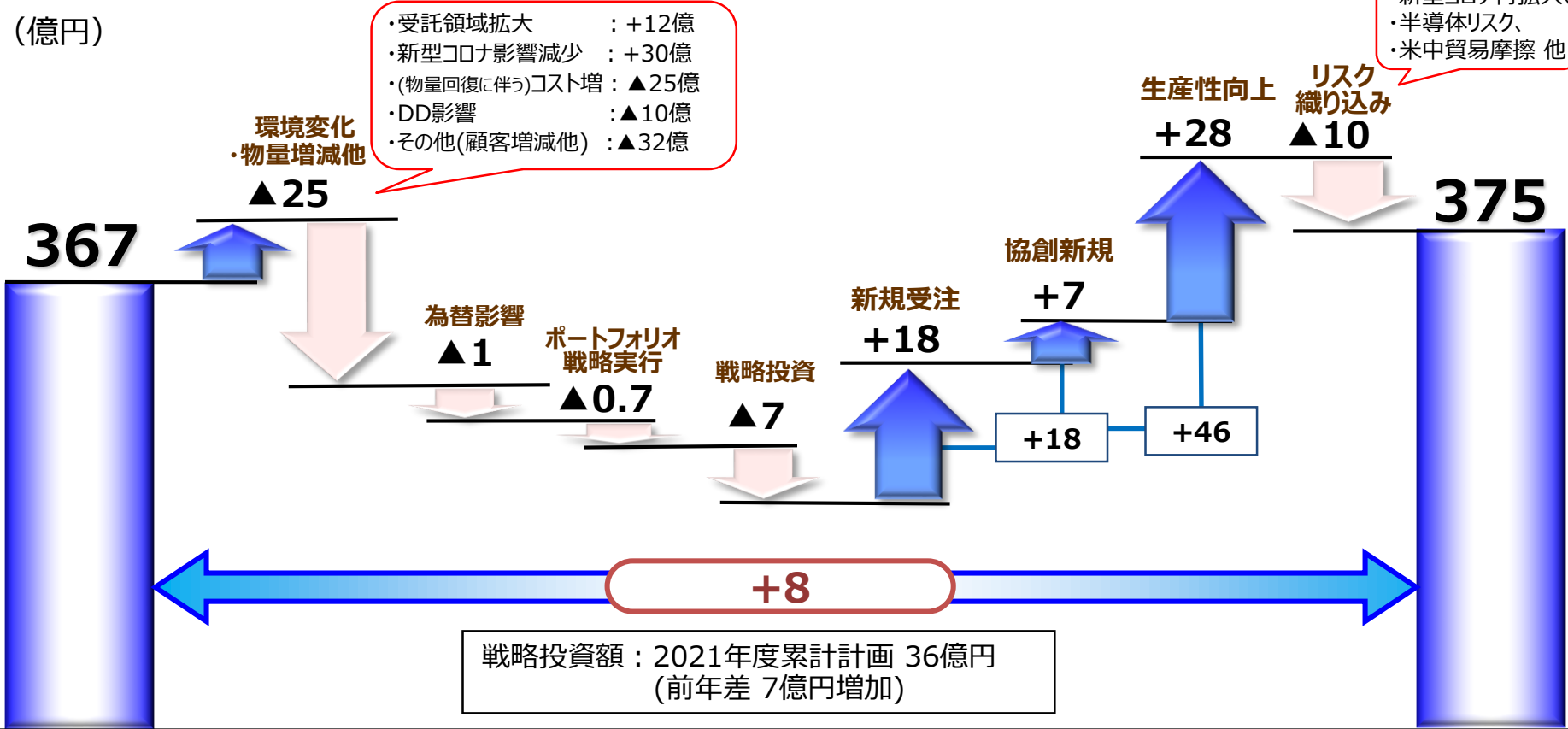
**+376**

2020年度 (実績)

2021年度 (計画)

## 営業利益 (計画)

(億円)



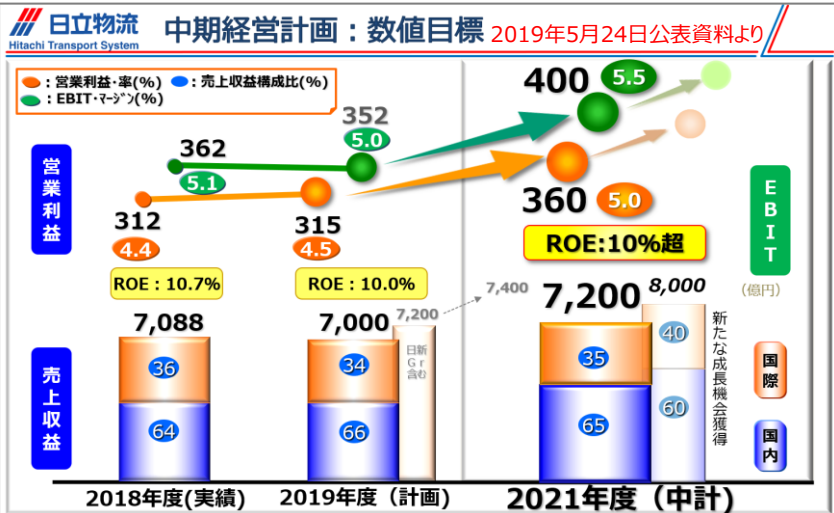
2020年度 (実績)

2021年度 (計画)



# 中期経営計画 「LOGISTEED 2021」進捗





## ■ 2021年度計画値

売上収益	6,900億円
調整後営業利益	375億円
EBIT	372億円
ROE	12.7%

**2022年度にキャッチアップ**

## 【当社認識】

IFRS第16号「リース」適用影響を加味した、

「中期経営計画での数値目標（適用後）」

- 調整後営業利益：385億円
- EBIT：425億円

## 【次期中期経営計画に向けて】 アジア圏3PLリーディングカンパニーへ

- 日本での確固たるポジション構築とアジアの地域リーダーへの進化
- 盤石な経営基盤の確立と増強（資金調達力・エコシステム拡大）
- Society5.0を支える次世代ロジスティクス

### ■ トップライン拡大

### ■ 収益性向上

### ■ 効率向上（資産/資本）

### ● 事業領域拡大（サービス・地域・販路等）

### ● リソースマネジメント（アセット・人財等）

### ● キャッシュ創出（資産流動化等）

### ◆ 協創戦略

- ・パートナー(同業/DX)
- ・不動産/ディベロッパー
- ・PEファンド他

## ■投資計画（キャッシュベース）

【中期経営計画（累計）】

1,530億円



### 戦略投資 860億円

- ☑ DXの推進、IT基盤構築  
〔ビッグデータマネジメント導入  
輸送デジタル 他〕
- ☑ 新技術開発  
(R&D、事業化検証 他)
- ☑ 新事業開発  
(スマートウェアハウス・SSCV 他)
- ☑ 人財・安全等
- ☑ M&A・資本政策他

※税金控除分除く

### ☑累計投資額（キャッシュベース）

投資残枠：700億超

- ・事業投資：345億
- ・戦略投資：284億（含むM&A・資本政策等：220億）

「パレネット」「日立物流東日本流通サービス」  
「自己株式取得」「SSCV-Safety外販」等

## 「LOGISTEED 2021」のゴールに向けて

地域・事業の領域を超えたエコシステム(経済圏)の形成・拡大

### ☑ 戦略投資

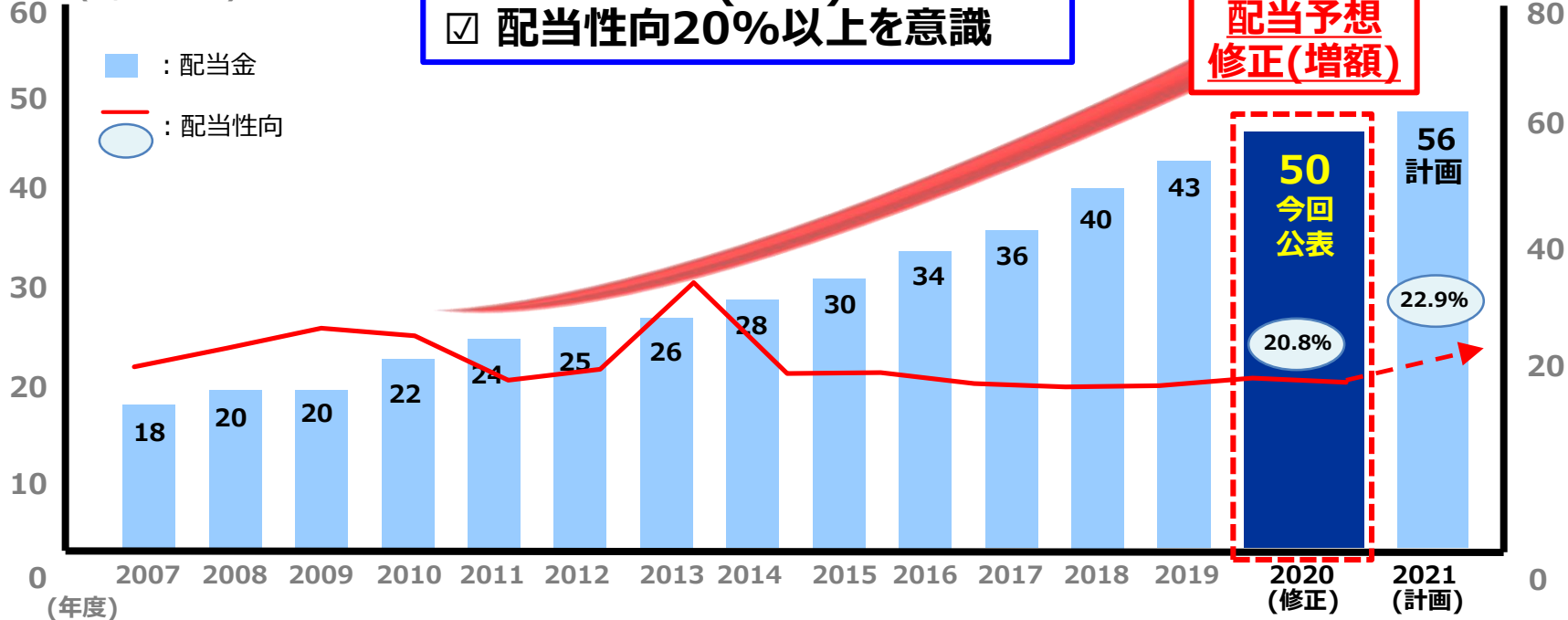
- ・ DX分野 (SWH・SSCV・SCDOS他)
- ・ 海外事業 (北米：トラック事業、インド：3PL事業)
- ・ 環境投資 (環境中長期目標)
- ・ 重量機工事業
- ・ フォワーディング事業

### 自己株式・キャッシュの機動的活用

- ☑ キャッシュ優先
- ☑ 自己株式消却 (随時)
- ☑ アライアンス、M&Aへの活用

## ■ 配当金推移と計画

(円/1株あたり)



- ☑ 安定的配当(増配)を継続
- ☑ 配当性向20%以上を意識

配当予想  
修正(増額)

50  
今回  
公表

22.9%

20.8%

日本基準適用

IFRS適用

TSR(株主総利回り)はTOPIXをアウトパフォーム  
\* 2016年3月末日の株価を100とした指数

年度	2016	2017	2018	2019	2020
当社TSR (%)	125	163	180	133	208
配当込みTOPIX (%)	115	133	126	114	162

※配当性向：1株当たり配当額÷(当期利益/期中平均株式数)



デジタルによる

「倉庫・輸送作業の連動」「標準化・類型化された作業・業務プロセス」「知恵の結集」



物流は新領域へ  
**LOGISTEED**

『デジタルプラットフォーム』

**IoT × DX**

- シェアリング・従量課金
  - ・使った分だけお支払い
- サプライチェーン可視化
  - ・地域の最適在庫配置
- ドライバー・輸送会社を守る
  - ・事故から未然に守る
- ロボティクス・群管理
  - ・後工程を待たせないためのバックキャストオペレーション

**5G × AI**

- 安全安心な職場環境
  - ・働く人を見守る環境
- 非接触型の運営管理
  - ・ストレスフリーな検温
- バーチャルリアリティ教育
  - ・危険の体感教育

**SC最適化** **BIG DATA** **BCP対応** **異常検知**

統制センタ

**Robotics**

HITACHI Inspire the Next

SSCV

## 輸送事業全般(陸運、旅客他)への展開を推進 取得したビッグデータを利活用し新サービス・新ビジネスを創出

### Phase 1

グループ会社・  
協力会社展開

### Phase 2

他の輸送事業者、商用・営業車  
(白ナンバー車)への展開

### Phase 3

SSCVデータ利活用による  
新サービス・新ビジネスの創出

当社グループ



当社グループ  
全車両導入済  
1,269両  
84拠点



【今後の展開】  
輸送協力会社  
3,600両

貨物輸送事業



商用車・営業用



旅客輸送事業



#### ■ 食品宅配事業

ドライバーの安全運転の  
定量的評価



#### ■ 旅客事業(路線・貸切バス)

安全運行強化・まちづくり  
への貢献

#### ■ ゴミ収集事業

安全運行強化・市民苦情  
対応、回収事業の効率化



スマートシティ  
まちづくり事業



作業労働者の  
データヘルス事業



損保・保険企業の  
新補償制度



フリート向け  
サービス事業



厚労省の改善基準告示の見直しに  
向けた、ドライバーの客観的・医学的  
な疲労度実態調査にSSCVバイタル  
データを活用



・自動車運転者の拘束時間や、連続運転時間の疲労度の蓄積  
状況を医学的に比較し、**改善基準告示見直し**の本格的な議論  
に向けた参考資料とするデータ測定にSSCVを活用。

《運行前》



自律神経計



《運行中》



シャツ型心電計



《運行後》



自律神経計



《睡眠》



ウォッチ型活動量計



✓ ドライバーの体調・労務管理、輸送効率化によるCO<sub>2</sub>排出削減等の社会課題に貢献

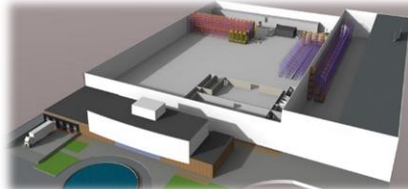
## 米国

自動車関連XDセンター（受注拡大）  
（稼働時期：2021年7月）



## オランダ

センター増強（受注拡大）  
（稼働時期：2022年1月）



## 中国

自動化・省人化設備導入



総投資額：120億円超<sup>※</sup>（主要計画累計）

✓ グローバル成長戦略の加速

（協創パートナーとの共同投資を含む）

## インド

マルチ物流センター  
（稼働時期：2022年7月）



チェンナイ・ムンバイ  
（以降、デリー・バンガロールでも稼働予定）

## マレーシア

チルド倉庫（コールドチェーン）  
（稼働時期：2023年4月）



## インドネシア

センター増強（保税+FWD）  
（稼働時期：2023年4月）



## Maersk基本戦略 : L&S Service拡充

海外との輸出入 + **国内での物流構築** による  
グローバルでシームレスなLogisticsの提供



## L&S Serviceパートナー 〈3 PLソリューションの提供〉

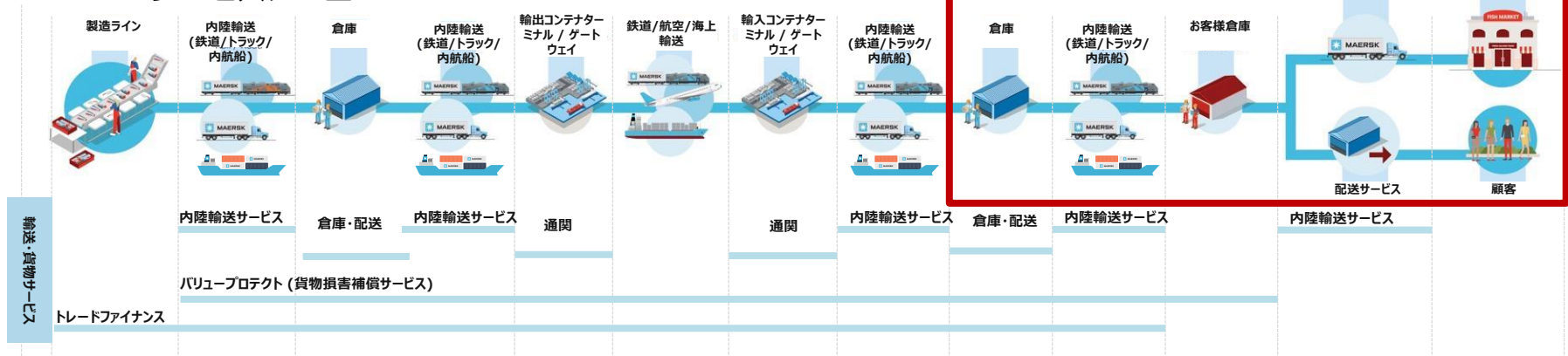
**OT**  
Operational  
Technology



**IT**  
Information  
Technology

Maerskと一体となった営業展開  
(専任営業の派遣実施)

## Maerskサービスメニュー



## 協創領域

## L&S Service x LOGISTEED (協創領域拡大に向けて)

ブロックチェーン技術基盤  
**TRADE+LENS**

SCM最適化提案基盤  
**SCDOS**  
Supply Chain Design & Optimization Services

**PoCを通じ  
実現性を検証**

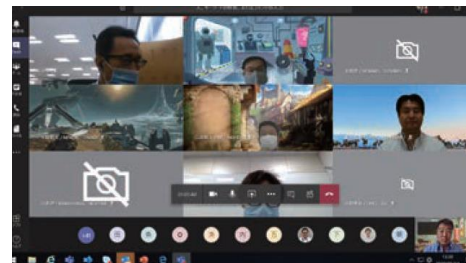


## VC21※活動 = 改善文化の醸成と環境（脱炭素）も実現する日々の活動

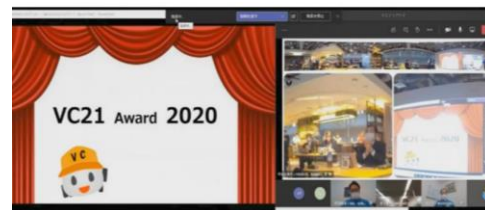
### VC21活動サイクル



### ■ オンラインでの改善活動の実践



### オンラインイベント「VCアワード」



### ■ デジタルツールを駆使した 全社的な生産性改革

- ✓ VC21活動サイクルを回して改善文化の醸成を行う
- ✓ VC21活動の積み重ねでLOGISTEEDを実現

※VC21 : Value Change & Creation 2021

「会社が成長し続けること」、従業員が「やりがいを持って仕事をする」を目的とした日々の改善を生産性向上につなげる活動。



## 環境（E）

### 【事業プロセスにおける脱炭素の実現】

#### ■ モデル事業所の設置による効果測定、 評価方法の検討（ノウハウの蓄積）

- ・電力計測装置を設置しデータを収集
- ・週・月毎、季節、繁閑を把握・分析

#### ■ SCDOSによるCO<sub>2</sub>排出量の見える化、 VC21活動による環境活動のわたくしごと化

- ・SCDOSにCO<sub>2</sub>排出量の見える化機能を付加し、顧客・当社双方で脱炭素化を促進
- ・脱炭素の理解向上に向けたワークショップ
- ・脱炭素の見える化と共有仕組み作り

#### ■ 当社取り組みの適切な開示 （TCFD賛同準備、統合報告書）

## 社会（S）

### 【ダイバーシティ&インクルージョン、 働き方改革の加速】

#### ■ Gr全体での女性管理職比率の向上 （2023年度目標:女性管理職比率10%\*）

\*日立物流のみ

- ・計画的な登用（ジョブローテーション、教育サポート）
- ・経験者採用の強化（体制強化、Web面接活用）

### 【人的資本への投資推進】

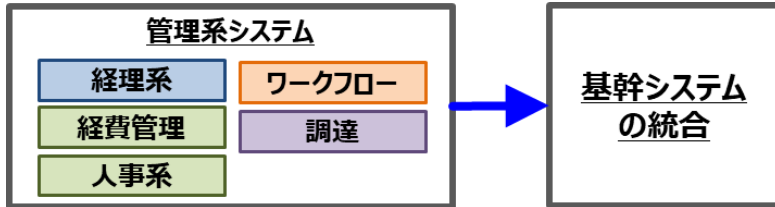
#### ■ 従業員エンゲージメントの観測・可視化、 DX人財の育成・確保

- ・従業員サーベイの継続実施～組織運営の改善
- ・ダイレクトリクルーティング、DX人財処遇制度の検討

## ガバナンス（G）

### 【「基本と正道」の徹底】

- 基幹システム刷新による業務効率とガバナンス強化（デジタル監査環境整備等）



- リスクオーナー、リスク対応実行責任者の選定

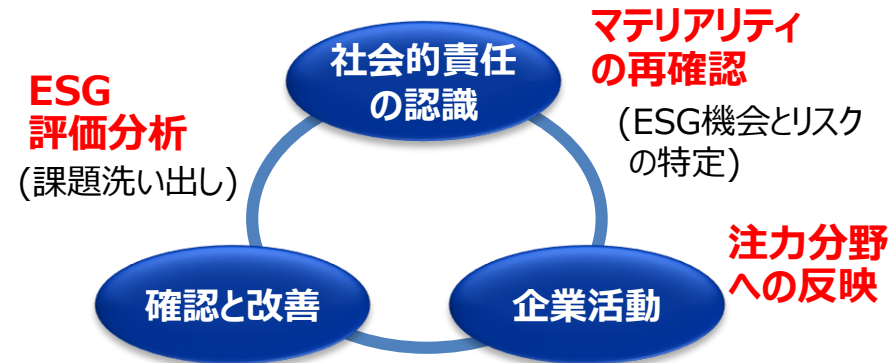
・マネジメント体制を構築し、各種リスク（成長、環境変化、オペレーション）を管理・最小化

- 取締役会での経営の本質に関する議論の深化（サステナビリティ、DX等）

～あるべき姿でのサステナビリティ推進に向けて～

<2021年度>

**マテリアリティ・注力分野の再確認**



- ✓ 「統合思考」に基づく価値創造ストーリー
- ✓ SDGs起点の事業戦略



# <参考> ESG各分野におけるSSCVの取り組み

## 環境 (E)

### (エネルギー)

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

配送効率化と運転挙動の見える化による、エコドライブの推進、燃料使用量の削減

### (気候変動)

13 気候変動に  
具体的な対策を

輸配送の効率化(シェアリングや積載率向上)による、温室効果ガス排出量の削減

### (都市)

11 住み続けられる  
まちづくりを

総合的なデジタルデータを活用した安全支援システムの普及による、事故のない都市、社会づくりの実現に貢献

### (イノベーション)

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう

輸送事業のIoT技術で強靱なインフラの整備をはかり、さらに蓄積されるデータの利活用による産業化をめざす

### (ジェンダー)

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

輸送業務のDX化による、女性ドライバーの活躍できる環境づくり

### (保健)

3 すべての人に  
健康と福祉を

高齢化の進むドライバーが、安全で健康的に働くことができる体調管理と労務管理の実施

### (教育)

4 質の高い教育を  
みんなに

個々人の運転データにもとづく、安全運転スキル向上のためのコーチングと教育

### (実施手段)

17 パートナシップで  
目標を達成しよう

オープンデジタルPFでの様々なビジネスパートナーとの協創によりエコシステムを形成、新たな社会価値・経済価値を創造

### (成長・雇用)

8 働きがいも  
経済成長も

輸配送DXによる、社会に不可欠な物流インフラの強靱化と、輸送事業者およびドライバーの地位向上に貢献

## 社会 (S)

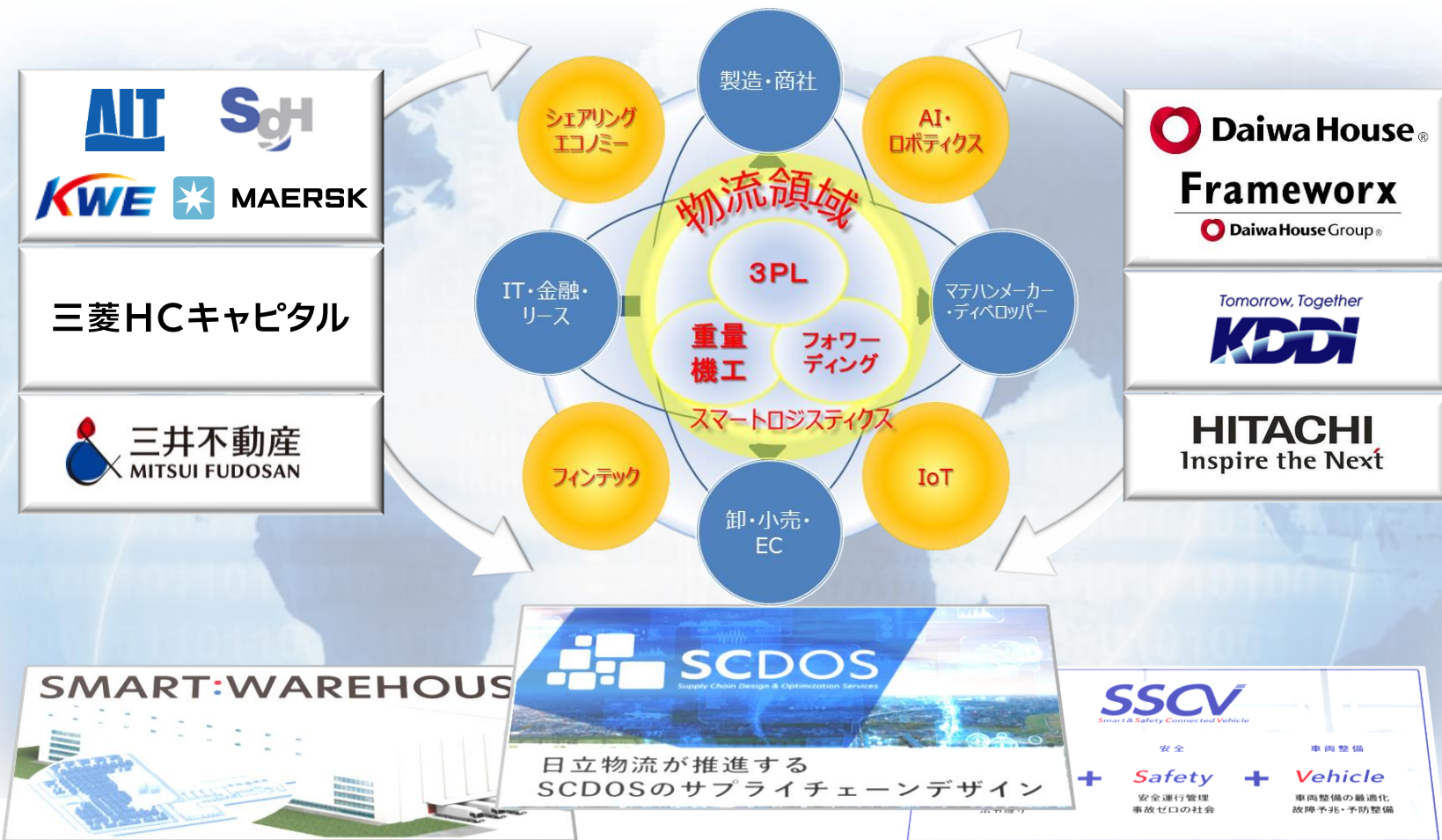
## ガバナンス (G)





# 地域・事業の領域を超えたエコシステムの形成・拡大

物流は新領域へ  
**LOGISTEED**





# 【補足資料】

＜財政状態、キャッシュ・フローの状況 他＞



(単位：億円)

項目	2019年度	2020年度	
	通 期	通 期	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,674	<b>2,474</b>	▲201
非流動資産	6,117	<b>5,406</b>	▲711
資産の部合計	8,791	<b>7,879</b>	▲912
(負債の部)			
流動負債	1,678	<b>1,567</b>	▲111
非流動負債	4,721	<b>4,692</b>	▲30
負債の部合計	6,399	<b>6,258</b>	▲141
(資本の部)			
親会社株主持分	2,329	<b>1,552</b>	▲777
非支配持分	64	<b>69</b>	+6
資本の部合計	2,393	<b>1,621</b>	▲772
負債・資本の部合計	8,791	<b>7,879</b>	▲912



(単位：億円)

項目	2019年度	2020年度	
	通 期	通 期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>782</b>	<b>553</b>	<b>▲229</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲ 12</b>	<b>698</b>	<b>+709</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲ 457</b>	<b>▲1,611</b>	<b>▲1,153</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<b>▲ 7</b>	<b>18</b>	<b>+25</b>
現金及び現金同等物の増減	<b>306</b>	<b>▲ 342</b>	<b>▲648</b>
現金及び現金同等物の期首残高	<b>1,084</b>	<b>1,390</b>	<b>+306</b>
現金及び現金同等物の期末残高	<b>1,390</b>	<b>1,048</b>	<b>▲342</b>

## 主要財務指標等

(単位：億円)

項目	2019年度	2020年度
親会社株主持分 (○は親会社株主持分比率(%)) (億円)	26.5 2,329	19.7 1,552
1株当たり親会社株主持分 (円)	2,087.52	1,854.01
基本的1株当たり親会社株主に帰属する当期利益 (円)	193.76	240.02
親会社株主持分当期利益率 (ROE) (%)	9.5	11.8
総資産利益率 (ROA) (%)	2.4	2.7
投下資本利益率 (ROIC) (%)	4.3	4.4
株価資本合計倍率 (PBR) (倍)	1.13	2.01

## 主要営業費用

(単位：億円、( )内は構成比(%))

項目	2019年度		2020年度			
	通期		通期		前年同期	
					比率	増減
外注費	(48.4)	3,251.8	(48.5)	3,165.2	97%	▲86.6
人件費	(24.1)	1,619.5	(24.1)	1,575.1	97%	▲44.3
賃借料	(3.1)	206.7	(2.8)	181.9	88%	▲24.7
償却費	(7.9)	528.2	(8.0)	521.6	99%	▲6.6





## 設備投資

(単位：億円)

項目	2019年度	2020年度	2021年度
	通 期	通 期	通 期 (計 画)
自家投資額※	182.5	<b>240.8</b>	<b>285.6</b>

※固定資産計上ベース

## 人員※1

(単位：人)

項目	2019年度	2020年度	2021年度
	通 期	通 期	通 期 (計 画)
社員	23,837	<b>22,682</b>	<b>23,870</b>
パート・派遣社員等※2	21,491	<b>21,047</b>	<b>23,311</b>
計	45,328	<b>43,729</b>	<b>47,181</b>

※1.持分法適用関連会社人員を除く ※2.シニア社員を含む

## 参考資料 業態別実績 (概算値)

(単位：億円)

	2019年度 (実績)			2020年度 (実績)		
	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率
国内	3,766	226.1	6.0% (6.0%)	3,682	231.3	6.3% (6.3%)
海外	790	51.2	6.5% (7.0%)	753	51.8	6.9% (7.4%)
<b>3PL</b>	<b>4,556</b>	<b>277.4</b>	<b>6.1% (6.2%)</b>	<b>4,435</b>	<b>283.1</b>	<b>6.4% (6.5%)</b>
国内	285	2.3	0.8% (2.3%)	287	6.6	2.3% (3.8%)
海外	653	▲ 0.2	- (0.5%)	725	27.0	3.7% (4.1%)
<b>フォワーディング</b>	<b>938</b>	<b>2.1</b>	<b>0.2% (1.0%)</b>	<b>1,011</b>	<b>33.6</b>	<b>3.3% (4.0%)</b>
国内	611	22.4	3.7% (5.1%)	533	18.2	3.4% (5.0%)
海外	443	11.9	2.7% (2.9%)	392	17.5	4.5% (4.5%)
<b>オート</b>	<b>1,054</b>	<b>34.3</b>	<b>3.3% (4.2%)</b>	<b>925</b>	<b>35.7</b>	<b>3.9% (4.8%)</b>
その他サービス	175	21.0	12.0% (12.0%)	152	14.7	9.7% (9.7%)
<b>合計</b>	<b>6,723</b>	<b>334.8</b>	<b>5.0%</b>	<b>6,524</b>	<b>367.1</b>	<b>5.6%</b>

※ ( ) 内は顧客関連資産償却費を除く



2021年4月28日

# 2020年度(2021年3月期) 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI  
Inspire the Next



物流は新領域へ  
**LOGISTEED**